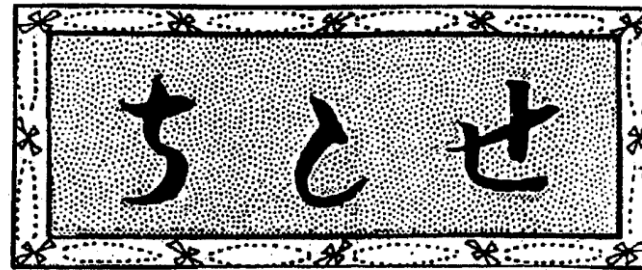


発行・編集 ミニコミ「ちとせ」
編集委員会
責任者 松園 伸子
事務局 船橋まちづくりセンター
電話 3482-0341



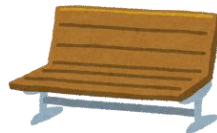
まちの目が
安全・安心を守っています
船橋地区町会・自治会連合会
船橋地区身近なまちづくり協議会
青少年福祉推進委員会/成城消防署/成城防犯協会



「多世代が交流する
笑顔あふれるまちへ」

▲ミニコミ紙は世田谷区のホームページからもカラーでご覧になれます。
二次元コードまたは、区ホームページ内で「ミニコミ 船橋」を検索

「新しい広場ができたよ！」



船橋まちづくりセンター隣

3月、船橋まちづくりセンター隣に「船橋4-3広場」が誕生しました。「開放的な空間で、みんなが憩える広場」というコンセプト。土地の高低差を生かして、3つのゾーンに分かれています。中央の「芝生ゾーン」は子どもたちが走り回って遊べる場所、下の「遊びゾーン」には斜面があり幼児用の遊具を配置。上の「憩いゾーン」には水飲み・手洗い・ベンチが設置されました。デッキ階段に座って広場全体を眺められる工夫も。お子さんとの散歩や、ウォーキングの折にひと息いれるのに、おすすめです。



▲できたばかりの広場で遊ぶ子どもたち



「知床旅情」が駅メロに 小田急線・千歳船橋駅

昨年11月24日より、電車の到着を知らせる音が「知床旅情」のオルゴール調のメロディーになりました。駅ホームの上りが曲の冒頭、下りがサビ部分です。この曲の作詞作曲を手がけた俳優・森繁久彌さんは、約60年間、96歳で亡くなるまで船橋にお住まいでした。「森繁通り」の名や改札口正面の「屋根の上のヴァイオリン弾き・テヴィエ像」でのみ、森繁さんをご存知の若い方もいることでしょう。昭和の名優の記憶を後世に残し、まちの活性化につなげたいと願う地域の思いが形になりました。



▲ミニコンサートにて会場全体で「知床旅情」を歌う様子

千歳船橋駅前広場で開催された「千歳船橋駅列車接近メロディー導入記念式典」には、この曲を歌ってヒットさせた歌手・加藤登紀子さんも駆けつけ、ミニコンサートでお祝いムードを盛り上げました。

駅ホームに流れる船橋地区ゆかりの優しい曲に、どうぞひととき、耳を傾けてみてください。



過去10年に59件もの住宅火災

船橋・千歳台

成城消防署・笹岡予防課長
インタビュー

火災予防は日ごろの心がけから

昨年11月船橋5丁目の火災で男性が死亡し、大みそかにも船橋6丁目火災が発生。住宅火災への関心が一層高まる中、2月3日、成城消防署の笹岡予防課長、谷地森防災安全係長、長倉地域防災担当係長、根本危険物係長兼調査係長にお話を伺いました。

昨年は死者が0から6人に急増

Q) 火災は増えていますか？

A) 成城消防署管内の火災件数は、過去30年間で最多だった平成4年131件から、令和元年(速報値)66件(うち建物火災が48件、船橋・千歳台地区では6件)に減っています。石油ストーブ、ガステーブル、電気機器などに安全装置が付いたり、火災警報器が設置されたり、防犯カメラの設置で放火が減ったりするなどの効果が表れたのだと思います。

しかし、昨年の火災件数は平成30年に比べ25件増えました。特に死者は0人から昨年は6人になりましたので、緊急対策本部を設置して対策を立てています。

ちなみに船橋・千歳台地区については、過去10年で59件の火災がありました。年間2件から9件の範囲内で年によりバラツキはありますが、増加傾向ではありません。人口が急増しているので、住民1人あたりで計算すれば減っていると言えるでしょう。

タバコ、放火、ガステーブルが3大原因

Q) 最近の火災の特徴は？

A) 昔から放火、タバコ、ガステーブルが3大原因と言われており、この傾向は変わりません。昨年の火災原因は、全66件のほぼ半分がタバコ13件、放火10件、ガステーブル8件です。

消防車は平常時の火災を想定して都内に配置されていますので、普段の火災で消防車が来ないことはありません。しかし大地震時に火災数が消防車の数を超えてしまうと、消防車が間に合わないことが予想されますので、住民の皆さんによる初期消火が大変重要です。

集合住宅についても、特に火災が多いという傾向はありません。31m(11階相当)を超える建物については部屋にスプリンクラーを設置する義務があり、気密性が高いので延焼は少ないようです。



119番
◀(右から)谷地森係長、笹岡課長、長倉係長、根本係長が、丁寧に話を伺いました。

火災警報器は10年目の交換時期

Q) 成城消防署として、どのような施策を立てていますか？

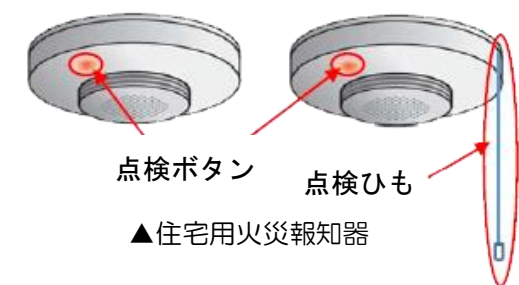
A) 昨年は緊急対策本部を設置して「STOP!住宅火災」というキャッチフレーズで、「住宅火災による死者をなくそう!緊急対策」をまとめました。タバコ火災の防止(寝タバコは絶対にしない、飲酒後の喫煙はうたた寝に注意)、整理整頓(室内と建物周囲の整理整頓をしましょう!)を強調しています。東京消防庁では、安心安全情報をアプリで流していますので、ぜひご覧ください。

今年は特に、住宅用火災警報器の条例制定から10年目。その頃設置した警報器の交換時期にあたりますので、点検と交換を呼びかけています。

<https://www.tfd.metro.tokyo.lg.jp/inf/app/index.html>



▲東京消防庁の安心安全情報アプリ



点検ボタン 点検ひも
▲住宅用火災報知器

備えあればうれいなし

Q) 船橋地区の皆さんに望むことはありますか？

A) 日ごろのお付き合いが大事です。火災が起きたとき、互いに助け合って消火や避難することを心がけましょう。町会・自治会・管理組合が行う火災・防災訓練や、行政の行う避難所運営訓練に参加してください。消防署もお手伝いします。

消防署からのお願い

地域防災力の要、消防団員を募集しています。
船橋・千歳台地区は定員まであと一息。3~4名のご協力をお願いいたします。

○地区の行事（3月13日時点）

日にち	内容	場所	開催状況
3月14日（土）	砧地域ご近所フォーラム	成城ホール	中止
3月19日（木）	区立中学校卒業式		
3月20日（金）	歩こう会（身近なまちづくり推進協議会）	野川沿い・喜多見	中止
3月21日（土）	船橋菫根会防災訓練	菫根公園	中止
3月25日（水）	区立小学校卒業式		
3月29日（日）	子どもぶんか村発表会	船橋小学校	中止
	まちなか観光馬車運行	千歳船橋駅周辺	中止
4月4日（土）	船橋菫根会 さくらまつり	菫根公園	中止
	千歳台廻澤町会 花まつり	希望丘記念公園	中止
4月6日（月）	区立小学校入学式		
4月7日（火）	区立中学校入学式		
5月17日（日）	古着・古布回収	管内6か所	
	ふなばしノミの市	千歳船橋駅前広場	
5月23日（土）	船橋小学校運動会	船橋小学校	
6月7日（日）	船橋あおばまつり	池田児童遊園	
6月13日（土）	子ども用品交換会（持ち込み）	船橋まちづくりセンター	
6月14日（日）	エコフェスタちとふな	船橋小学校	
	子ども用品交換会（当日）		

「それって人権？～気づけて良かった～」

青少年船橋地区委員会 地域研修会 実施

青少年船橋地区委員会では、地域みんなでひとつのテーマについて学び考える、地域研修会を毎年実施しています。今年度は早稲田大学文学学術院 喜多明人教授を講師に迎え、1月24日（金）18時から、希望丘青少年交流センター「アップス」にて開催しました。地域に通う学生や、地域の方々など67人が参加しました。「必要なのは、子どものための専門家を増やすことではない。子どものために本気になる人を増やすことだ」というお話が印象的でした。学びのあとは、恒例のカレーを食べながらの交流も深めました。



●最近火事が多くなりました。火災現場に消防車や救急車など数台から十数台も駆けつけるのを見受けられます。成城消防署のインタビューで「火災に勝る消防力に対応する」という話を伺って、腑に落ちました。火事は魔物。いったん消えたとみえても、小さな火種が残っていたら、再燃します。火事との闘いは徹底的にやるのが肝要。消防署の皆さんの力強い言葉に安心しました。●希望の「ミニコミ紙『ちとせ』縮刷版」ができました。船橋地区町会・自治会連合会の支援とまちづくりセンターの人的協力にお礼申し上げます。過去と現在をつなぐ史料として、大切に保存し、ご活用を期待しています。●今号のミニコミで変わったところがあります。表面上部の変更は「ちとせ」ロゴのあたりに二次元コードを付けました。区のHPのミニコミにリンクを張りましたので、ご利用ください。●新型コロナウイルスにより各種のイベントが中止になりました。今号で予定していたものも当てが外れ、急遽記事を差し替えました。早い終息を願っています。（〇）

編集後記

新型コロナウイルス感染防止のためイベントが中止に

小中学校は臨時休校延長

新型コロナウイルス感染症に関連して、多くのイベントが延期・中止になっていますが、世田谷区では、国や東京都の動向や区内の感染状況等を踏まえ、主催イベントの延期または中止の判断を行っています。

3月31日（火）までに開催する区主催のイベントのうち、次年度への延期ができないイベントについては、屋内屋外を問わず、中止とすることを基本としています。

また、4月中に開催する区主催のイベントのうち、事前準備の関係等で3月中に延期または中止の判断を行う必要があるものについても、当初予定していた日程以外での開催が困難なものを除き、延期することを基本とし、延期の日程検討にあたっては、東京2020大会の開催時期やその直前に重ならないよう配慮しながら、イベントの各主管部において、延期または中止の判断を行っています。なお、特定の場所に一度に多くの方が集まるイベントは、慎重に判断することとしています。

延期・中止を決定した区主催のイベント一覧は、区ホームページで随時更新しています。

中止になったイベント

- 3月 1日：船橋会「スタンドパイプ訓練」
- 3月 7日：千歳清掃工場見学会
- 3月 8日：3.11を忘れない！（千歳船橋駅前広場）
- 3月 8日：フレール西経堂自治会「防災訓練」
- 3月14日：第10回砧地域ご近所フォーラム2020（成城ホール）
- 3月20日：身近なまちづくり推進協議会「歩こう会」（野川沿い、喜多見）
- 3月21日：船橋菫根会「防災訓練」（菫根公園）
- 3月21日～22日：アップスフェス（希望丘青少年交流センター）
- 3月29日：子どもぶんか村発表会（船橋小学校）
- 3月29日：世田谷まちなか観光馬車（千歳船橋駅周辺）
- 4月 4日：船橋菫根会「さくらまつり」（菫根公園）
- 4月 4日：千歳台廻澤町会「花まつり」（希望丘記念公園）

また、世田谷区教育委員会は、区立小中学校の臨時休校を3月25日（水）までの延長を決定し、25日の修了式を中止しました。新BOP、学童クラブ、児童館、希望丘青少年交流センター「アップス」は利用できます。一人一人が咳エチケットや手洗いなどを励行し、正しい知識を得て冷静に対応していきたいと思います。

※上記については3月13日正午時点の情報です。最新の情報は区ホームページ等でご確認ください。



▲区HP：イベント情報ページ



▲LINE：厚労省新型コロナウイルス感染症情報

8回目の「3.11を忘れない！」は中止

今年の「3.11を忘れない！」は3月8日（日）千歳船橋駅前広場にて開催予定で準備を進めていましたが、2月26日の実行委員会リーダー会議にて中止の決定をしました。催しと募金、灯ろう飾りは中止ですが、目的である「3.11を忘れない！」のために、千歳船橋駅前広場の大看板は3月5日から11日まで、今年も設置されました。助け合う心をつなげたいというこの地域の気持ちは、今年も変わりありません。



▲思いを込めた大看板を駅前広場に設置

千歳船橋「世田谷まちなか観光馬車」幻に

地域の方々が楽しみにしていた馬車のイベントが、中止になりました。東京2020大会で馬術競技が開催されることから、「うままち」を身近に感じてもらう、と企画されたイベント「世田谷まちなか観光馬車」（主催・世田谷まちなか観光交流協会）。馬事公苑の最寄り4駅周辺（上町、用賀、桜新町、経堂）ではすでに実施され、ラスト・ランが3月29日の千歳船橋駅周辺の予定でした。馬の種類はベルジャントロッター。体重700～800キロもある大きな馬が千歳船橋駅周辺を馬車で走る姿に、期待が集まっていたので残念です。いつの日か、船橋のまちでも雄姿を見たいですね。



▲世田谷まちなか観光馬車のポスター

ミニコミ紙「ちとせ」縮刷版完成！ ～37年間の地域史～

37年を迎えた本紙「ミニコミ紙『ちとせ』」。船橋地区町会・自治会連合会の支援を受け、新しい縮刷版を発行することができました。製本は船橋まちづくりセンター職員の棚田さん・鈴木さん、イラストは船橋在住のイラストレーター・鈴木れい子さん。

縮刷版には、編集委員と職員による「座談会」を収録。編集委員になってから地域への関心が高まったこと、QRコードを活用していきたい、などの発言から、皆さんに喜んで頂けるミニコミ紙を目指していることをご理解いただければと思います。

また、創刊号から115号までの記事が一目でわかる「記事一覧」をご活用いただければ、「あのお祭りはいつから？」「お囃子の歴史は？」など調べたいことがすぐに見つかります。

縮刷版は、町会・自治会、日赤、民生・児童委員協議会、青少年船橋地区委員会、小中学校、児童館などに配布されています。近隣の図書館、郷土資料館、船橋まちづくりセンターにも所蔵されますので、ぜひご覧ください。

○お問い合わせは、船橋まちづくりセンターまで。



▲鈴木れい子さんによるイラスト

日赤の社資募集にご協力いただき、ありがとうございました。

今年度も皆さまのご協力で、船橋まちづくりセンター管内合計1,419,918円となりました。心から感謝いたします。

この社資のおかげで献血事業のほか、昨年起きた台風での被害の際には、被災者への物資配布や、DMAT（災害派遣医療チーム）として医師・看護師・薬剤師などのメンバーが発災後48時間以内に被災地へ赴き、医療行為を行うための車両・医療用テントや薬剤等の資機材などをまかなうことができました。

次回もどうぞよろしく願いいたします。

（募集期間：5月1日～31日）



▲日本赤十字社の公式マスコットキャラクター「ハートちゃん」